



## 関西国際空港 ゴッホ「ヒマワリ」3点の陶板名画を展示します ～大塚国際美術館の世界をお楽しみください～

関西エアポート株式会社は、2022年12月2日（金）より、ゴッホ「ヒマワリ」シリーズの陶板名画3点を関西国際空港の新国内線ラウンジ「Lounge KANSAI」内に展示することをお知らせします。

当作品は、徳島県鳴門市にある大塚国際美術館に展示されている陶板名画全作品を手掛ける大塚オーミ陶業株式会社が製作した原寸大の陶板名画で、今回の「ヒマワリ」シリーズの陶板名画3点が同時に展示されるのは大塚国際美術館以外では初めてとなります。また、このうちの1点は、1945年の空襲により兵庫県芦屋市で焼失した幻の「ヒマワリ」を画集写真をもとに再現したもので、この作品を原寸大で見られるのは陶板名画のみです。展示環境を選ばない陶板名画により、世界的なゴッホという画家の作品を間近で楽しんでいただき、癒しを感じていただける空間を演出します。

関西国際空港は、大塚国際美術館のある鳴門や淡路島を含む瀬戸内・四国地域の玄関でもあり、これらの地域の魅力発信にも積極的に取り組んでおります。

関西エアポートグループは、周辺地域との連携を大切にしつつ、お客さまに楽しんでいただける取り組みを通じて、新たな旅の体験を創造してまいります

※徳島県鳴門市に設立された日本最大級の常設展示スペース(延床面積 29,412 m<sup>2</sup>)を有する「陶板名画美術館」です。館内には古代壁画から、世界 26 カ国、190 余の美術館が所蔵する現代絵画まで 1000 点を超える西洋名画を大塚オーミ陶業の特殊技術によって陶板で原寸大に再現し、展示しています。館内にはレオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」をはじめ、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがある名画が一堂に会し、日本にいながら世界の美術館を体験できます。

### 【展示概要】

展示物：ゴッホ「ヒマワリ」シリーズの陶板名画3点

展示期間：2022年12月2日（金）～

場 所：関西国際空港第1ターミナルビル新国内線ラウンジ「Lounge KANSAI」

※ラウンジのご利用は、ANA・JALのラウンジ利用対象の方に限ります。なお、当日の利用状況等によって、作品をご覧いただけない場合がございます。予めご了承ください。

### 【設置イメージ】

ゴッホが描いた花瓶の「ヒマワリ」全7点のうち3点をご覧いただけます。



左：ノイエ・ピナコテーク（ミュンヘン）所蔵  
右：ナショナル・ギャラリー（ロンドン）所蔵



1945年 兵庫県芦屋市にて焼失した、幻の「ヒマワリ」

### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社

グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション

Tel 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

#### 関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

#### 関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



#### オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界約30カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

今後も、常に新しい価値を創造する強みと専門性を生かし、<オリックス>という完成形のない独自のビジネスモデルを基に、企業や人々に活力をもたらす企業活動を通じて社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の12カ国において53空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構